

平成27年度 関東女子倶楽部対抗群馬会場予選競技 組合わせ及びスタート時間表

(参加者 17倶楽部 ・ 85名)

期日：6月4日(木)

場所：伊香保国際カントリークラブ 赤城・榛名コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番 (赤城コース) よりスタート

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	8:00	齋藤 万知子	伊香保国際	矢島 みどり	レーサム	高橋 広子	草津		
2	8:09	板橋 博美	桐生	西田 美代子	赤城	吉田 敦美	ツインレイクス		
3	8:18	富田 南海子	甘楽	原 勝代	JGM高崎ベルエア	小澤 千恵子	白水	田子 とみ江	初穂
4	8:27	中島 江利子	ツインレイクス	山納 連淑	サンコー72	高橋 浩子	藤岡	野口 三佐子	JGM高崎ベルエア
5	8:36	角田 かつ枝	赤城	大崎 由里香	赤城国際	長谷川 徳子	クリスタル	篠原 ひろ子	甘楽
6	8:45	林 景子	赤城国際	瀬間 かず子	甘楽	森島 豊子	太田双葉	福原 千波	伊香保国際
7	8:54	武井 博子	初穂	西村 香世子	草津	清田 マキコ	鳳凰	中島 弘子	クリスタル
8	9:03	米田 康代	レーサム	真砂 雅子	藤岡	位下 和子	初穂	永原 淑子	ツインレイクス
9	9:12	増茂 ケイ子	サンコー72	峯岸 絹枝	桐生	宮寄 三枝子	JGM高崎ベルエア	田畑 美代子	グリーンパーク
10	9:21	菊地 好子	太田双葉	山田 弥生	サンコー72	小池 晶代	白水	角田 くに子	レーサム
11	9:30	神林 加津子	藤岡	林 夏美	鳳凰	武笠 浩子	グリーンパーク	星野 響子	クリスタル

10番 (榛名コース) よりスタート

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
12	8:00	武内 真理子	グリーンパーク	赤坂 百合子	太田双葉	秋田 たまみ	鳳凰		
13	8:09	岩井 恭子	赤城国際	木幡 サチ子	サンコー72	高宮 久美子	クリスタル	田辺 美恵子	藤岡
14	8:18	狩野 益美	伊香保国際	大沢 百合子	草津	黒崎 美津江	太田双葉	早川 法子	桐生
15	8:27	木樽 ふさ	初穂	岡本 典子	レーサム	佐野 文子	グリーンパーク	西 有実子	鳳凰
16	8:36	武藤 真由美	白水	齋藤 静子	レーサム	伊勢塚 恵美子	グリーンパーク	川田 奥乃	桐生
17	8:45	川崎 幸代	白水	川崎 エミ子	赤城	鈴木 輝美	サンコー72	本郷 すみ江	藤岡
18	8:54	長井 佐代	ツインレイクス	前田 薫子	JGM高崎ベルエア	篠原 久子	伊香保国際	岩崎 米子	太田双葉
19	9:03	石川 紀緒美	鳳凰	高澤 亜希子	赤城国際	井上 早苗	甘楽	森谷 美穂	草津
20	9:12	高橋 清美	赤城	高澤 ひろ子	クリスタル	千野 理恵	白水	都丸 美佐子	伊香保国際
21	9:21	三村 淑恵	桐生	小島 千枝子	ツインレイクス	岩崎 よしみ	初穂	庄田 雅恵	草津
22	9:30	山田 幸子	甘楽	岩沢 純子	赤城	阿部 香織	赤城国際	鈴木 里江	JGM高崎ベルエア

競技委員長 星野正治

平成 27 年度 関東女子倶楽部対抗群馬会場予選競技

開 催 日 : 6 月 4 日(木)

開催コース: 伊香保国際カンツリークラブ 赤城・榛名コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
3. 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。
(a) パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)
(a) 排水溝
(b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
(c) 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
5. コースと不可分の部分
樹木やその他の恒久的な物件に巻きつけたり、密着させてあるもの。
6. ホールとホール間の白杭
コース内のホールとホール間の白杭を結ぶ線を越えていった球は、球が白杭を結ぶ線の向こう側のコース上に止まっている場合でも、アウトオブバウンズの球とする。
7. 防球ネット
防球ネットに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。

距離表

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
Yards	380	371	150	325	337	432	396	137	423	2951
Par	4	4	3	4	4	5	4	3	5	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
459	265	267	148	301	355	143	328	466	2732	5683
5	4	4	3	4	4	3	4	5	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(C)1a』を適用する(ゴルフ規則 174 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(C)1b』を適用する(ゴルフ規則 175 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(C)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(C)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

9. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 人 1 箱(24 球)を限度とする。

競技委員長 星野正治